

2022年度 事業報告

事業報告の概要

2022年度後半は長い間続いていたコロナ禍が収まりを見せ、規模を縮小しながらも札幌大会、研修会なども行うことができ、あらためて対面で行われる活動の良さをかみしめました。

経済におきましてはあらゆるものが値上げの対象となり、出口のない貧困が拡大の一途をたどりつつあり、ひとり親家庭は子どもを守りながら日々の生活を維持していけるのか、大きな不安に駆られています。

そのような中、今年度も多くの方々からひとり親家庭、子ども達へ心を寄せていただく寄付寄贈がありました。世の中には私たちひとり親家庭を気にかけてくれる多くの善意があるという、強い気持ちをいただきました。

また、無料学習塾「さっぽろ・まなトピア」は札幌市をはじめ、会員・ボランティア講師そのほか応援してくれる多くの方々の努力があって、休むことなく開催できました。

進学や学習を諦めることなく、子ども達が笑顔で過ごせる社会になるよう、今後も継続的にあらゆる機関に働きかけていきたいと思っております。

1. 公益法人として事業目的の再確認と事業内容の再構築に努めました

公益法人として、ひとり親家庭、寡婦の福祉増進に寄与するという団体の目的に沿った事業計画に基づき、地域、関係機関、他団体とのネットワークを強化いたしました。

2. 法人の収支構造の明確化と経費削減に努め、財務基盤の安定化に努めました

収益事業の減少が続き、またコロナで団体行事等に影響を及ぼす状況の中、公的機関の補助金や助成金を活用し、財務状況の強化を図るとともに、行事の適時適正な開示に努め経理内容の透明化となお一層の経費削減に努めました。

3. 指定管理業務・その他受託業務において効果的・効率的な業務の遂行に努めました

既存事業においては、人員確保がままならない状況下でも質の高いサービスの提供に努め、札幌連クオリティーを維持し、効果的・効率的な業務の遂行にあたりました。

4. 後継者の人材育成を推し進め、組織力の強化を目指しました

各専門部において、独自性や発想力を活かした企画や活動等を通して、人材育成を推し進めました。また大会等を通して、他県会員との交流により組織の目的を明確に知ることができました。

5. 新規会員獲得に向け、あらゆる媒体や関係他団体を通しなお一層の周知に努めました

新規会員加入促進、既存会員定着に向け LINE での情報発信に努めました。また機関誌やパンフレットを作成し他団体に配付、窓口配置等をして、団体の周知を図る活動を行いました。

事業報告

I【公益目的事業】

(札幌市内のひとり親家庭及び寡婦の福祉の増進に寄与する事業)

1. 札幌市ひとり親家庭支援センター事業(札幌市指定管理者)

(1) ひとり親家庭支援センターの管理・運営事業

① 広報・啓発

- ・センターだより発行(札母連だよりに掲載) 年1回 各8,000部 年2回 1,000部
- ・センターリーフレットの作成 年1回 9,000部
- ・ホームページ <http://www.satsuboren.or.jp/hitorioya/>

② 教養講座の実施

- ・デインプルアート講座(6名参加) 6月30日(木)
- ・いきいき講座～ストレッチ・リンパマッサージ～(11名参加) 9月15日(木)
- ・ジェルネイル講座(9名参加) 11月10日(木)

③ 交流の場の提供・・・技能習得室・研修室

- センター利用状況利用 1,005件 6,716名(前年度: 606件 4,016名)
- (内、主催事業912件・母子団体関係15件・母子サークルグループ62件・その他16件)

④ 運営協議会の実施

- 第1回 3月15日(出席者11名)

(2) ひとり親家庭支援センター事業

① 就業相談の実施・就職情報提供

- ・新規登録者 133名(前年度:100名)
- ・就業実績 60名(内、情報提供による就業者21名)

② 就業促進活動

- ・センターへの求人件数 326件(前年度:274件)
- ・募集人員 1,033名(前年度:645名)

③ 相談員・支援職員等に対する研修等の実施

- ・札幌地域生活保護受給者等就労自立促進協議会 6月 6日(月) ハローワーク札幌
- ・「生活保護受給者等就労自立促進事業」打合せ会議 6月27日(月) ハローワーク札幌東
- ・生活保護受給者等就労自立促進事業地域協議会 6月29日(水) ハローワーク札幌
- ・札幌北地域生活福祉・就労支援協議会 7月15日(金) ハローワーク札幌北
- ・札幌市生活困窮者自立支援ネットワーク会議 10月7日(金) 札幌市生活就労支援センター
- ・養育費専門相談員等研修会 7月 1日(金) Zoom
- ・養育費等の相談に関する地域研修会 7月28日(木) Zoom
- ・相談員・支援職員等応用研修 1月30日(月) ひとり親家庭支援センター
- ・配偶者からの暴力防止に関する全道セミナー 1月31日(火) Zoom
- ・ひとり親相談員ミーティング 毎月1回中旬頃実施

④就業支援講習会等事業

◇就業支援講習会

講習会名	応募者 延人数	受講者数	修了者 延人数	資格取得者 延人数
診療報酬	8	5	5	0
初めてのワード・エクセル パワーポイント3級	12	10	9	8
ワード・エクセル3級	7	7	6	4
観光英語3級	7	6	3	1
ファイナンシャル プランナー(FP)3級	17	15	10	8
簿記初級	8	7	6	4
介護事務	7	7	7	7
調剤薬局事務	9	8	8	8
簿記3級	14	11	9	2
第1回ワード・エクセル準2級	13	12	9	9
介護職員初任者研修	8	7	7	7
第2回ワード・エクセル準2級	7	6	3	0
簿記2級	4	4	2	0
メンタルヘルスマネジメント®Ⅲ種	9	9	8	6
医療事務	6	5	4	3
仕事力・マナー技能検定3級	11	9	6	5
仕事力・マナー技能検定2級	6	6	5	3
メンタルヘルスマネジメント®Ⅱ種	10	9	7	6

◇就職準備・離転職セミナー

- ・面接対応と履歴書の書き方(6名参加) 6月16日(木) ひとり親家庭支援センター
- ・就職のための自己分析セミナー(6名参加) 10月13日(木) //

⑤託児サービスの実施

- ・講習会託児 242名(前年度:120名)
- ・相談対応託児 18件 25名(前年度:4件 4名)

⑥就職情報提供事業

- ・就職情報の提供 5,319件(前年度:5,678件)

⑦ひとり親家庭等生活支援事業 法律相談、心療相談

- ・法律相談(月4回) 194件(母子178件・寡婦10件・父子6件)(前年度:194件)
- ・心療相談(月2回) 24件(母子17件・寡婦5件・父子2件)(前年度:24件)

⑧ひとり親家庭相談事業

・一般相談 面接・電話相談 延2,783件(母子2,012件・寡婦771件)(前年度:延2,813件)

生活一般	2,291件
児童	250件
生活援護	214件
その他	28件

・父子相談 面接・電話相談 延 255件(前年度:302件)

生活一般	102件
児童	37件
生活援護	116件
その他	0件

・養育費・面会交流セミナー(20名参加)

10月16日(日) ひとり親家庭支援センター

(3)就労自立促進事業

札幌市母子自立支援プログラム策定事業実施要綱に基づき実施

◇対象者36名(前年度 4名) ◇就職決定者26名(前年度 3名)

2. 生活・就業支援事業

(1)ひとり親家庭等日常生活支援事業(札幌市からの委託事業)

・実績144件(延353件1026.25時間 母子家庭347件・父子家庭6件・寡婦家庭0件)(前年度:134件)

・研修会の実施「大人の発達障害について」(9名参加) 2月15日(水) 社会福祉総合センター

(2)休日託児事業(ほりでーまむ)

・実績92件(延219名1098.65時間)(前年度:43件)

(3)生活支援サービス事業

・実績198件(167.75時間)(前年度:152件)

(4)就業支援事業(実務講習会)

・パワーポイント2級講座(5名参加)

7月30日(土)・31日(日)・8月6日(土)・7日(日)

3. 児童の健全育成事業

(1)ひとり親家庭クリスマスプレゼント

応募者146名 109世帯

(2)冬休み親子手芸講座(16名参加)

1月15日(日) ひとり親家庭支援センター

(3)ひとり親家庭学習ボランティア事業

毎週土・日曜日 各区

(4)入学卒業祝い会

各区

4. 奨学金給付事業

(1)奨学金給付協賛企業等

- ①北海道新聞社会福祉振興基金
- ②北洋銀行
- ③北海道信用金庫ひまわり財団
- ④北海道 CGC みどりところの基金
- ⑤サッポロビール株式会社
- ⑥札幌市母子寡婦福祉連合会

(2)奨学金選考委員会

6月 6日(月) ひとり親家庭支援センター

(3)奨学金贈呈式 146名(1名/年間60,000円)

6月23日(木) 社会福祉総合センター

5. 調査研修事業(組織の充実強化・指導者育成・広報啓発事業)

- | | | |
|-----------------------------------|------------------|---|
| (1) 調査研修部 | | |
| ・調査研修部会 | 4回 | ひとり親家庭支援センター |
| ・札幌連研修会の企画立案 | | |
| (2) 広報部 | | |
| ・広報部会 | 10回 | ひとり親家庭支援センター |
| ・札幌連だより139号発行 | 10月15日(土) | |
| ・札幌連だより140号発行 | 3月23日(木) | |
| (3) 母子部 | | |
| ・母子部会 | 1回 | ひとり親家庭支援センター |
| ・東北・北海道ブロック母子部長会議(1名参加) | 9月 3日(土) | 定山溪万世閣ホテルミリオナーネ |
| (4) 全国母子寡婦福祉団体協議会理事会・評議員会 | 随時 | |
| (5) 母子寡婦福祉対策議員連盟懇談会 | | |
| 並びに第9回加盟団体代表者連絡会議 | 5月27日(金) | アワーズイン阪急 |
| (6) 東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会打合せ会議 | 6月 2日(木)・3日(金) | 定山溪万世閣ホテルミリオナーネ |
| (7) 札幌市社会福祉大会 | 7月 5日(火) | カナモトホール |
| (8) まなトピア研修会 | 各区 | |
| (9) 札幌市母子寡婦福祉大会(59名参加) | 8月 7日(日) | 社会福祉総合センター |
| (10) 第66回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 | 9月 3日(土)・4日(日) | 定山溪万世閣ホテルミリオナーネ |
| (71名参加) | | |
| (11) 日本女性会議2022in 鳥取くらしよし(Zoom) | 10月28日(金)・29日(土) | 倉吉未来中心 |
| (12) 令和4年度全国母子寡婦福祉研修大会(Zoom) | 11月 5日(土) | ピアザ淡海 |
| (13) 札幌連研修会(70名参加) | 2月26日(日) | 社会福祉総合センター |
| (14) 区母連会長会(7名参加) | 2月26日(日) | ひとり親家庭支援センター |
| (15) 全国母子部長会議(1名参加) | 3月11日(土)・12日(日) | きゅりあん |
| (16) 就労促進情報関係者連絡会議並びに全国母子寡婦指導者研修会 | 3月12日(日) | きゅりあん |
| (17) ホームページ | | http://www.satsuboren.or.jp/ |
| (18) LINE 公式アカウント開設 | | |

6. 母子家庭及び寡婦の交流事業

- | | | |
|-------------------------------|----------|-------|
| (1) ひとり親家庭ふれあい交流レク(11世帯28名参加) | 7月31日(日) | 円山動物園 |
| (2) 新年のつどい | 1月13日(金) | 中止 |

7. 就労対策事業

- | | | |
|------------------|------|------------------|
| (1) 清掃・茶碗洗浄・給茶業務 | | |
| ①札幌市役所 | 受託年月 | 昭和46年(1971年)11月～ |
| ②札幌市西岡図書館 | 受託年月 | 昭和57年(1982年) 3月～ |
| ③札幌市里塚斎場 | 受託年月 | 昭和59年(1984年) 7月～ |
| ④札幌市社会福祉総合センター | 受託年月 | 平成 元年(1989年) 4月～ |
| ⑤札幌市ひとり親家庭支援センター | 受託年月 | 平成 元年(1989年) 4月～ |
| ⑥札幌市児童福祉総合センター | 受託年月 | 平成 5年(1993年)12月～ |
| ⑦札幌市東老人福祉センター | 受託年月 | 平成 7年(1995年) 3月～ |
| ⑧札幌市清田老人福祉センター | 受託年月 | 平成11年(1999年) 4月～ |

⑨札幌市子育て支援総合センター 受託年月 平成16年(2001年) 4月～2023年3月

稼働人員77名

(2) 清掃作業従事者研修指導者取得

(3) 清掃作業従事者研修会の実施 2回

(4) 事業所責任者会議の実施 中止

(5) 職員交流研修会の実施 中止

II 【その他の事業(相互扶助等事業)】

(公益目的事業の促進と安定を図るための物品等の販売事業及び母子生活支援施設

(札幌市しらぎく荘)の管理運営事業)

1. 母子生活支援施設(札幌市しらぎく荘)の管理運営事業(札幌市指定管理者)

(1) 在所者の状況(令和5年3月31日現在)

① 世帯の状況

・現員 6世帯 12人 (前年度 7世帯 14人)

・世帯構成 平均 2人 (前年度 平均 2人)

2人世帯	3人世帯	計
6	0	6

・世帯の在所期間 平均 7.5年 (前年度 平均 6.5年)

0～1年	1～2年	2～3年	3～5年	5～7年	7～9年	9年～12年	計
0	0	0	3	0	1	2	6

・入所 0世帯 0人 退所 1世帯 2人(前年度 入所 0世帯 0人 退所 1世帯 3人)

② 母親の状況

・母親の年齢構成 平均 42.7歳 (前年度 平均 40.8歳)

21～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～55歳	計
1	0	1	2	0	2	6

・就労状況

正社員	非正規(パート等)	学生	無職	計
2	3	0	1	6

③ 児童構成

区分	幼児							小学生						中学生			高校生			計	
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年		
男子	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
女子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4
計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	6

④ 乳幼児保育

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
病児保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登園援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
お迎え援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
通院援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65

⑤ 学童保育

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
施設内保育	37	35	25	13	4	8	32	17	16	30	21	30	268	328
平日学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期休暇学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設外保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病児保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夜間保育	35	27	19	11	3	8	24	15	10	22	21	26	221	284
計	72	62	44	24	7	16	56	32	26	52	42	56	489	612

⑥ 母親への支援

項目	具体的な内容
就労支援	仕事の情報提供、仕事の悩み相談
育児支援	児童(登下校見守り、交友把握、留守番・病児見守り)
生活支援	相談支援、書留・荷物等の物品預かり、健康診断による健康管理、火気点検
自立支援	住宅情報提供、公共料金集金、町内会加入
アフターケア	退所母子への関わり(郵便による安否確認、カウンセラーへの相談)

(2)行事の報告

月	日(曜日)	行事内容	世帯数(人数)
5	17(火)	遠足(サッポロさとらんど)	4世帯(4人)
10	24(月)	ハロウィン(ランタン制作、お菓子を配る)	5世帯(5人)
12	23(金)	クリスマス会(制作、お菓子・フライドチキンを配る)	6世帯(12人)
1	13(金)	合同スキー遠足(フッズスノーエリア)	5世帯(5人)
2	3(金)	節分(豆まき、恵方巻ロールを配る)	5世帯(10人)
3	2(木)	ひなまつり(ドーナツを配る)	6世帯(12人)
	24(金)	進級・卒業お祝い(ロイン亭の食事)	5世帯(5人)

2. 公益目的事業の促進と安定を図るための物品等の販売事業

(母子及び父子並びに寡婦福祉法第25条に係る売店事業)

(1) 札幌市中央卸売市場売店事業(青果棟売店)

稼働人員 2名

(2) 札幌市里塚斎場売店・喫茶・そばコーナー事業

稼働人員 5名

(3) 飲料水自動販売機事業

飲料水自動販売機 42台

III 【その他】

1. 会議

(1) 定期総会	5月26日(木)18:30～	ひとり親家庭支援センター
(2) 臨時総会	3月22日(水)18:30～	社会福祉総合センター
(3) 理事会	5回	ひとり親家庭支援センター
(4) 監査	2回	〃
(5) 三役会	6回	〃

2. 会員向け事業等

(1) 貸付金事業

生活資金

まごころ基金 4区

(2) 助成事業

① 区母連活動助成

② 夏まつりビアガーデンチケット頒布助成

(3) その他本会の目的を達するために必要な事業

3. ひとり親に対する資金貸付

(1) 高等職業訓練促進資金貸付金

① 入学準備金 申込受付 17件(決定 17件、却下 0件)

② 就職準備金 申込受付 21件(決定 21件、却下 0件)

③ 住宅支援貸付 申込受付 31件(決定 31件、却下 0件)

4. 諸団体との連携協力

共同募金奉仕活動(14名参加)

10月1日(土)～7日(金)